

国土交通省推薦 氏名：沖 大幹

概要

沖大幹教授は日本の水文学者で、東京大学の教授を務めており、2024年に「ストックホルム水大賞」を受賞しました。

「ストックホルム水大賞」は、世界で最も権威のある水関連の賞であり、ノーベル賞の選考を行っているスウェーデン王立科学アカデミーの最終選考に基づいてストックホルム水財団が決定し、世界水週間の期間中にストックホルム市庁舎においてスウェーデン国王より授与されます。日本人の受賞は、建設省で日本の下水道の普及に尽力された久保起氏(1994年)、水処理研究で世界的に高名なカリフォルニア大学名誉教授の浅野孝教授(2001年)以来23年ぶり3人目となります。

略歴

平成18年11月～令和3年3月 東京大学生産技術研究所 教授
 平成28年10月～令和3年9月 国連大学上級副学長、国際連合事務次長補兼務
 平成29年4月～ 東京大学総長特別参与
 令和2年4月～ 東京大学大学院工学系研究科 教授

功績内容

水文学の研究により、数値モデリングを通じて水文学、気候変動、持続可能性の間の結びつきに関する理解を大きく前進させる卓越した学識を示しました。世界の主要河川のデジタルマッピングであるTotal Runoff Integrating Pathways (TRIP)により、様々な土地管理や気候シナリオのもとで必要とされる緑の水資源(土壌水分)を明らかにするなど、世界の水の供給と需要の現状と、気候や社会の変化の下での将来予測推定を可能にし、水の持続可能な管理に向けた国際社会の取組を促進しました。

これらの業績が評価され、2024年8月に水のノーベル賞とも呼ばれる「ストックホルム水大賞」を受賞しました。

